

いつか 必ず きっと



本気で頑張るから、本気で応援する。
本気で応援されるから、本気で頑張る。

雨で延期された体育祭。気力も体力も回復できたのか、開会式前の入場行進から、今までで一番の迫力を感じました。先輩のために、後輩の見本になるために、そして、仲間と目標を達成するために。本気でやれば、大抵のことはできるし、何といたっても楽しいのです。本気になって汗をかき、時には恥をかき、涙を流したその先に、新しい自分(達)との出会いが待っているのだと思います。そして、本気でやると、誰かが助けてくれるし、応援してくれるのです。

応援の力は本当にすごいです。「頑張れ！」「ファイト！」「あと少し！」「イケー！」たったそれだけの言葉だけど、苦しさに立ち向かうことができます。体の奥から「ガンバルチカラ」が湧いてきます。みなさんが、必死にゴールに向かって走る姿からは、目標に向かって物事に取り組む姿勢を、声援にパワーと元気をもらい、いかに力を発揮する様子からは、互いに影響を受け高め合っているよき集団のあり方を感じました。

それともう一つ気づいたことがあります。みんなの姿を見て、「本気で応援される人」は人を「本気で応援できる人」だということもわかりました。いくら懸命に努力をしても、他人の頑張りに気づくことができる視野の広さや、応援できる心の余裕がなければ、それは、独りよがりの行動となってしまうのではないかと思うのです。学級も学年も人と人のつながり、先生と生徒の関係も、すべてが人と人のつながりで成立しているということを、改めて強く感じた体育祭でした。

仲間の頑張りを本気で応援し、みんなで行おうとすることに本気で協力する。完全燃烧軍団は、そんな素敵な仲間達です。毎日の生活の中には、喜びもあり、悲しみもあり、いろいろなことがあります。これからも、そんな「喜喜愛愛」を134人で共有していける学年でありたいと思います。

来年度は、保護者の皆様にもご参観いただき、子供たちの本気の取り組みを見ていただける世の中になっていることを心の底から願います。



(2-1 本気の応援に本気で応えようとする姿は美しい)



(2-4 心をつなげる決意のTシャツ)



(2-3 士気が上がる体育祭当日の黒板)



(全員一丸となって輝団優勝おめでとう!) (熱い眼差しを向ける2-2担任) (2-1大房駿之介さん本気の万歳三唱)

次号からは、子供たちの体育祭を終えての感想・写真をたっぷり掲載させていただきます。